

HP iLO 3 リリースノート 1.61

HP 部品番号: 616296-199
2013 年 9 月
第 1 版



© Copyright 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HP から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

商標

Microsoft® および Windows® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

Java は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

リビジョン履歴

製品番号	サポートされるバージョン	改版番号	改版日
616296-191	バージョン 1.00	1	2010 年 3 月
616296-192	バージョン 1.05	2	2010 年 6 月
616296-193	バージョン 1.20	1	2011 年 4 月
616296-194	バージョン 1.25	1	2011 年 6 月
616296-195	バージョン 1.26	1	2011 年 9 月
616296-195	バージョン 1.26	2	2012 年 3 月
616296-196	バージョン 1.50	1	2012 年 10 月
616296-196	バージョン 1.50	2	2012 年 12 月
616296-196	バージョン 1.50	3	2013 年 1 月
616296-197	バージョン 1.55	1	2013 年 2 月
616296-198	バージョン 1.57	1	2013 年 6 月
616296-199	バージョン 1.61	1	2013 年 9 月

説明

HP iLO 3 ファームウェアを使用すると、サーバーをリモートで設定、更新、および操作することができます。ブラウザベースのインターフェイスまたは RBSU で iLO3 を設定できます。詳しくは、『HP iLO 3 ユーザーガイド』を参照してください。iLO 3 は多数のツールと構文でサポートされています。詳しくは、『HP iLO 3 スクリプティング/コマンドラインガイド』を参照してください。iLO 3 の一部の機能はライセンスが必要な機能であるため、オプションのライセンスを購入しないと使用できません。詳しくは、HP の Web サイト <http://www.hp.com/go/ilo/licensing>（英語）を参照してください。

アップデートに関する推奨事項

必須：これは今後のサポートに必要です。

置き換えるバージョン

1.57

製品モデル

HP iLO 3

オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 2008 R2
- Microsoft Windows Server 2008 W32
- Microsoft Windows Server 2008 x64
- Microsoft Windows Server 2003 R2
- Microsoft Windows Server 2003
- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 Essentials
- Microsoft Windows Small Business Server 2003（ML300 シリーズ）
- Red Hat Enterprise Linux 5（x86、AMD64/EM64T）
- Red Hat Enterprise Linux 6（x86、AMD64/EM64T）
- SUSE Linux Enterprise Server 10（x86、AMD64/EM64T）
- SUSE Linux Enterprise Server 11（x86、AMD64/EM64T）
- VMware ESX/ESXi Server 4.0、4.1
- VMware vSphere 5.5

ブラウザ要件

iLO の Web インターフェイスを実行するために、以下のブラウザがサポートされています。

- Internet Explorer 8、9、10
- Firefox ESR 17
- Chrome（最新バージョン）

iLO の Web インターフェイスを使用する場合は、以下の設定を有効にする必要があります。

- **[JavaScript]** - このアプリケーションは、クライアント側の JavaScript を広範囲で使用します。
- **[Cookies]** - 一部の機能が正常に動作するために、Cookie を有効にする必要があります。

- **[ポップアップウィンドウ]** - 一部の機能が正常に動作するために、ポップアップウィンドウを有効にする必要があります。ポップアップブロックが無効になっていることを確認してください。

サポートされるデバイス

- HP ProLiant BL685c G7 サーバー
- HP ProLiant BL680c G7 サーバー
- HP ProLiant BL620c G7 サーバー
- HP ProLiant BL490c G7 サーバー
- HP ProLiant BL465c G7 サーバー
- HP ProLiant BL460c G7 サーバー
- HP ProLiant BL2x220c G7 サーバー
- HP ProLiant DL980 G7 サーバー
- HP ProLiant DL585 G7 サーバー
- HP ProLiant DL580 G7 サーバー
- HP ProLiant DL385 G7 サーバー
- HP ProLiant DL380 G7 サーバー
- HP ProLiant DL360 G7 サーバー
- HP ProLiant DL120 G7 サーバー
- HP ProLiant ML110 G7 サーバー
- HP ProLiant SL390s G7 サーバー
- HP ProLiant SL335s G7 サーバー
- HP ProLiant SL4545 G7 HyperStorage System

拡張機能

このバージョンでは、次の機能および拡張機能のサポートが追加されています。

- iLO ユーティリティに追加された IPv6 機能。
- 15、30、45、および 60 秒のサーバー電源投入時遅延オプションを使用できます。これらの新しいオプションは、[電力管理] > [サーバー電力] ページで、SET_HOST_APO コマンドで使用できます。
- 2 つの新しいスクリプトヘッダーオプション。
- スクリプトのメジャーリリースの数字が予想されるバージョンと一致しない場合の、RIBCL バージョン不一致の警告。
- 次のコマンドが追加されました。
 - GET_ALL_LICENSES
 - GET_PRODUCT_NAME
 - UPDATE_LANG_PACK
 - SET_PERS_MOUSE_KEYBOARD
 - GET_PERS_MOUSE_KEYBOARD

- 次のコマンドが更新されました。
 - MOD_NETWORK_SETTINGS
 - MOD_GLOBAL_SETTINGS
 - GET_NETWORK_SETTINGS
 - GET_EMBEDDED_HEALTH

修正点

このファームウェアバージョンでは、次の問題が解決されました。

- iLO 3 評価版ライセンスが有効期限前に失効することがありました。
- SSRT101250 に関連するセキュリティの脆弱性の可能性が存在していました。
- 内蔵リモートコンソール (IRC) のプレイバックビデオが、記録後に応答を停止する場合があります。
- サーバーがリブートするたびに、iLO ファームウェアが、サーバーのリアルタイムクロック (RTC) の時刻を、iLO のネットワークタイムプロトコル (NTP) の時刻で置き換えていました。現在、RTC は、サーバーの電源を入れて無電力状態から復帰したときにのみ、NTP 時間で設定されます。
- Java 内蔵リモートコンソール (JIRC) は、HP SIM シングルサインオン (SSO) で起動できませんでした。
- 新しい HP SSO 認証情報をインポートするときに、「証明書は保存できませんでした。」というエラーが発生する場合があります (マルチユーザー)。
- インテグレートッドマネジメントログ (IML) での一致していない電源エントリが、正しい電源が取り付けられた後でも訂正されていませんでした。
- ブレードサーバー上で iLO 3 に更新するときに重大な問題が発生し、電源投入時の障害や予想外の電源停止が起きることがありました。

問題と推奨処置

問題：『HP iLO 3 オンラインヘルプ』には、[管理] > [マネジメント] ページで SNMP アラートの通知先には IP アドレスまたは FQDN を入力できると記されている。

推奨処置：iLO 3 の SNMP アラートの通知先には有効な IP アドレスだけを入力してください。

前提条件

- iLO 3 1.61 以降に更新するには、iLO 3 1.2x がインストールされている必要があります。
- 次のいずれかのユーティリティを使用している場合は、以下に示すバージョンに更新してください。

ユーティリティ	バージョン	iLO 3 1.61 の場合のバージョンに関する注意
HPQLOCFG	1.0	これは CPQLOCFG ユーティリティに代わるものです。
HPONCFG	4.2.0	このバージョンを使用するには、Channel Interface Driver (CHIF) をバージョン 3.9.0.0 にアップグレードする必要もあります。
LOCFG.PL	4.20	このユーティリティは、HP Lights-Out XML スクリプティングサンプル 4.2.0 バンドルで使用できます。
HPLOMIG	4.2.0	iLO 3 1.61 アップデートをインストールする前に、このバージョンの HPLOMIG に更新してください。

- 一部の iLO 3 機能は、iLO ライセンスパッケージの一部です。iLO ライセンスについて詳しくは、<http://www.hp.com/go/ilo/licensing> の Web サイトを参照してください。
- Java 統合リモートコンソールを使用するには、Java Runtime Environment, Standard Edition 1.4.2_13 以降をインストールする必要があります。
- .NET バージョンの統合リモートコンソールを使用するには、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 をインストールする必要があります。
- .NET 統合リモートコンソールは、.NET Framework の一部である Microsoft ClickOnce を使用して起動します。
 - Mozilla Firefox では、ClickOnce アプリケーションを起動するためにアドオンが必要です。Microsoft .NET Framework Assistant のような ClickOnce プラグインがあると、Mozilla Firefox のサポートされるバージョンから .NET IRC を起動できます。.NET Framework Assistant は、<https://addons.mozilla.org/en-US/firefox/addon/microsoft-net-framework-assist/> の Web サイトからダウンロードできます。
 - Google Chrome では、ClickOnce アプリケーションを起動するためにアドオンが必要です。Chrome ブラウザー用の ClickOnce プラグインがあると、Chrome のサポートされるバージョンから .NET IRC を起動できます。このプラグインは、<http://code.google.com/p/clickonceforchrome/> の Web サイトからダウンロードできます。

インストール手順

インストール手順については、次のマニュアルを参照してください。

『HP iLO 3 ユーザーガイド』

部品番号：616301-195

版数：1